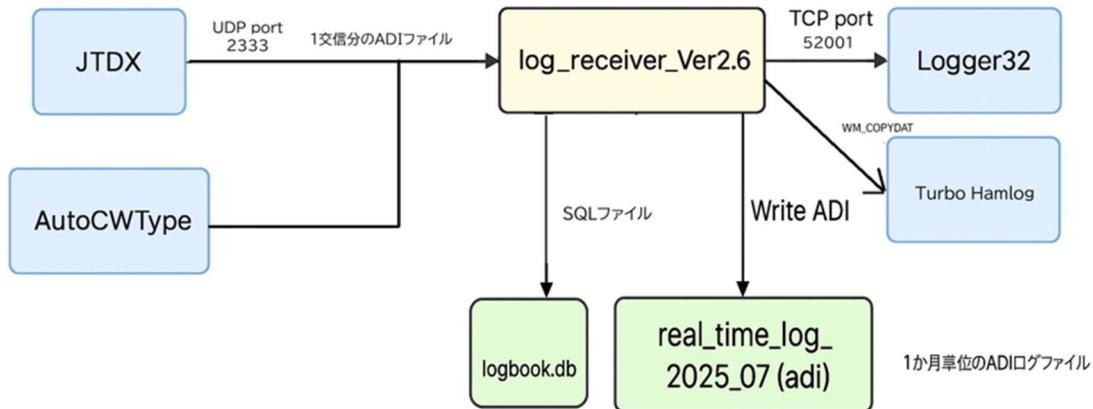


log_receiver_Ver2.6.6 プログラムマニュアル

log_receiver_Ver2.6.6 は JTDX、WSJT-X と AutoCWType から ADI データーを受け取りログの記録するプログラムです。

またロギングソフト Turbo Hamlog、Logger32 にデーターを転送して書き込みます



インストール

log_receiver_Ver2.6.6.zip を解凍したフォルダーに **Install_log_receiver_Ver2.6.6.exe** が出来ます

dxcc_list.db	2025/08/08 1:16	Data Base File
Install_log_receiver_Ver2.6.6.exe	2026/01/04 20:24	アプリケーション
iota_list.db	2025/08/08 20:40	Data Base File
log_receiver_Ver2.6.6.exe	2026/01/04 17:57	アプリケーション
log_receiver_Ver2.6.6_English_manual.pdf	2026/01/04 20:39	Adobe Acrobat 文書
log_receiver_Ver2.6.6_Install.nsi	2026/01/04 18:00	NSIS Script File
log_receiver_Ver2.6.6マニュアル.pdf	2026/01/04 20:40	Adobe Acrobat 文書

log_receiver_Ver2.6.6_Install.exe を実行すると

- 「C:\¥JI1FGX\¥log_receiver」 というフォルダーに **log_receiver_Ver2.6.6.exe** がインストールされます
- ディスクトップに log_receiver_Ver2.6.6 というショートカットが出来ます



- C:\¥Logs\¥に dxcc_lost.db と iota_list.db がコピーされます
コールサインのプレフィックスから国名を導き出す機能が備わっています

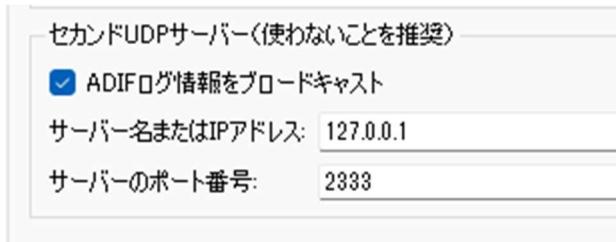
使い方

起動するとバックグラウンドで動作します

JTDX で第 2UDP サーバーの設定を行ってください



WSJT-X ではセカンド UDP サーバーを 127.0.0.1 UDP ポートを 2333 に設定します。



C:\Logs に

- real_time_log_2025_05.adi のような月単位の ADI ファイルが出来ます
私は QSL マネージャーに提出の為に使っています
- logbook.db というファイルが出来ます。SQL ファイルです
JTDX_Remote でリアルタイムのログ表示の為に使います

起動方法

ディスクトップのアイコンで起動させるかタスクスケジューラーでパソコン起動時に自動起動させます。

Turbo HAMLOG の標準機能でログを記録している場合は log_receiver_Ver2.6.6 からの Turbo HAMLOG へのログ書き込みを抑制することが出来ます。

ディスクトップに出来たアイコンを右クリックして「ショートカット」タブのリンク先に "C:\JI1FGX\log_receiver\log_receiver_Ver2.6.6.exe" -nohamlog を書き込んでください

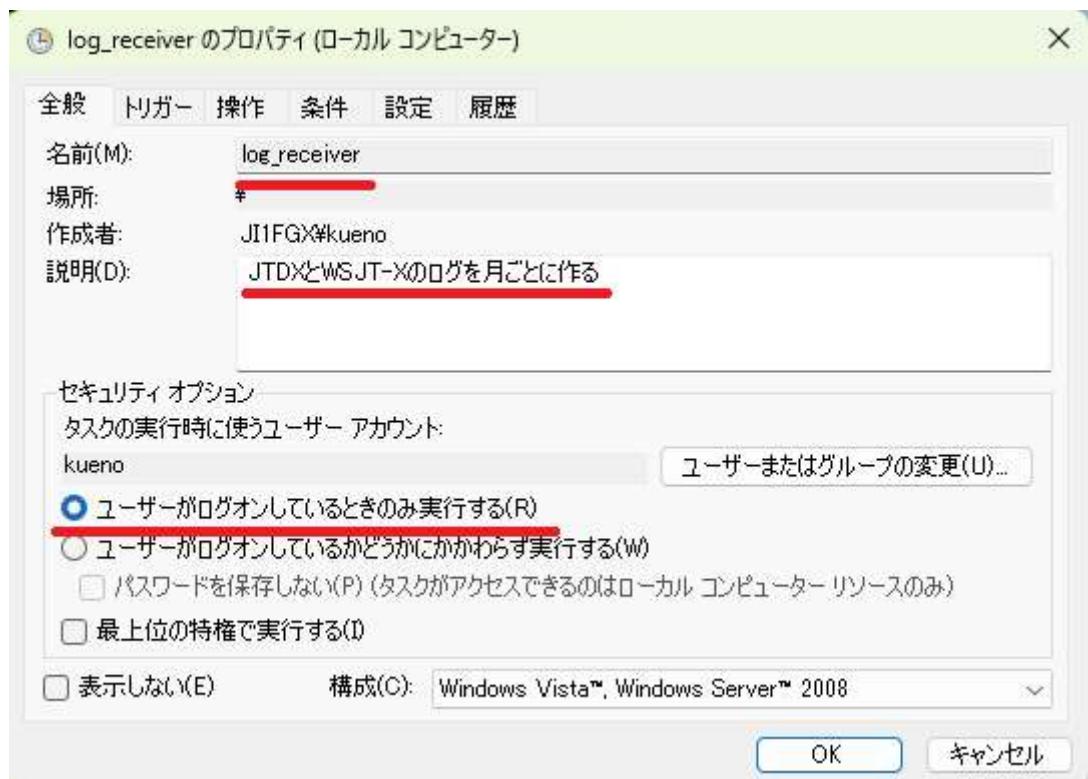


タスクスケジューラーでの起動方法

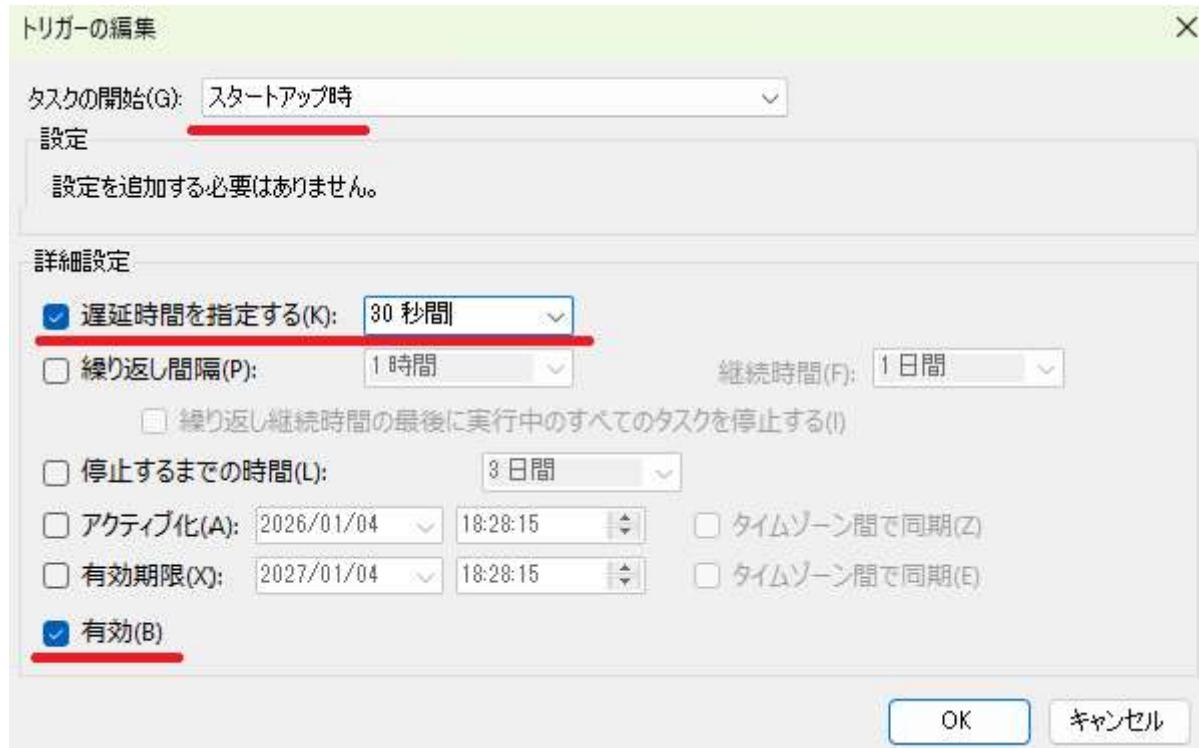
1. タスクスケジューラーを起動します
2. タスクの作成を選びます。



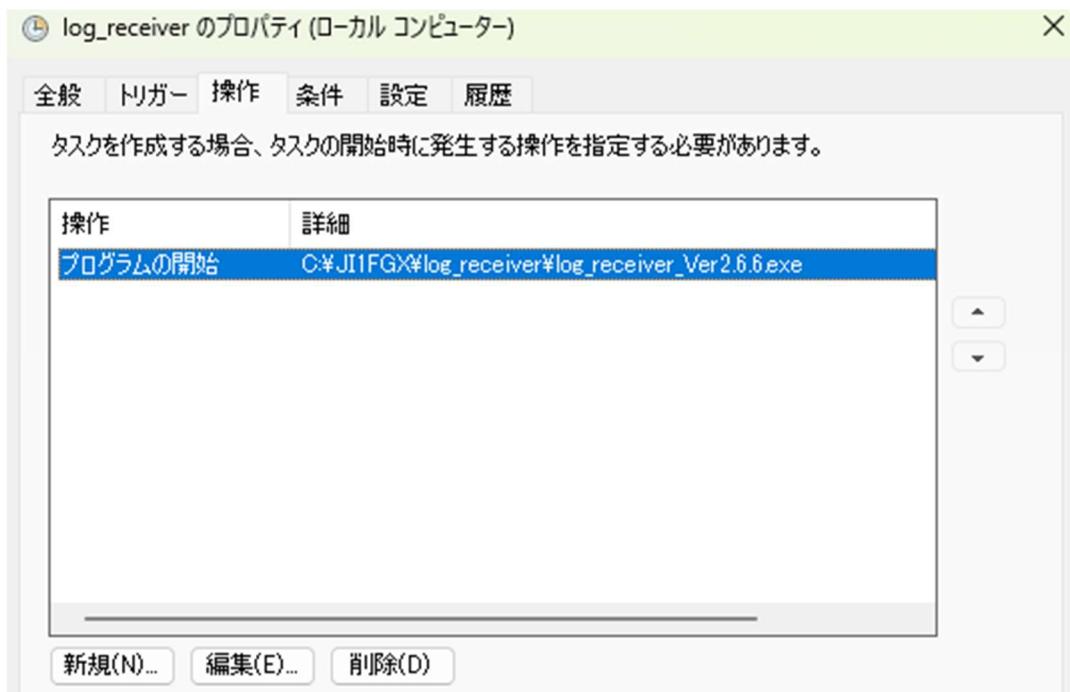
3. 全般の設定



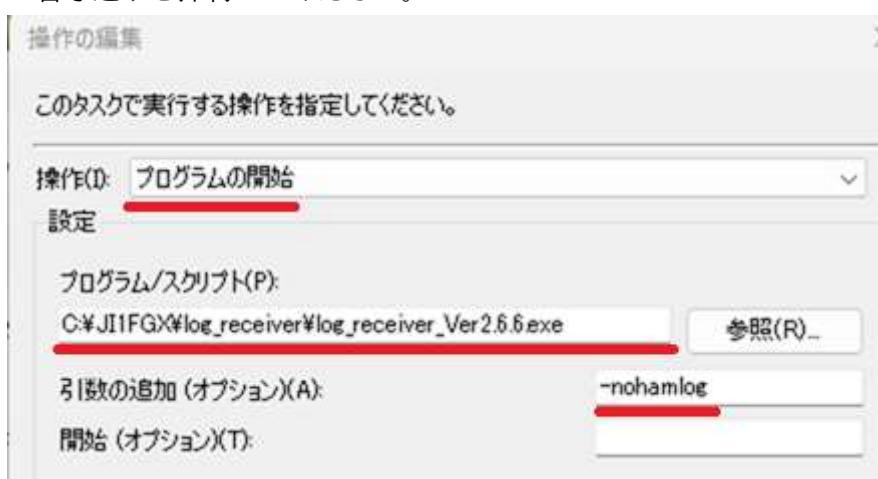
4. トリガーの編集



5. 操作の編集

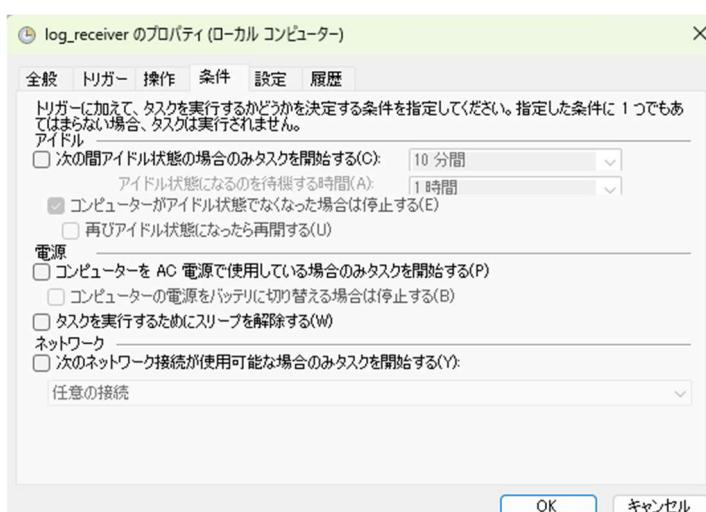


Turbo HAMLOG の標準機能でログを書き込む場合は `-nohamlog` で `log_receiver_Ver2.6.6` からの書き込みを抑制してください。

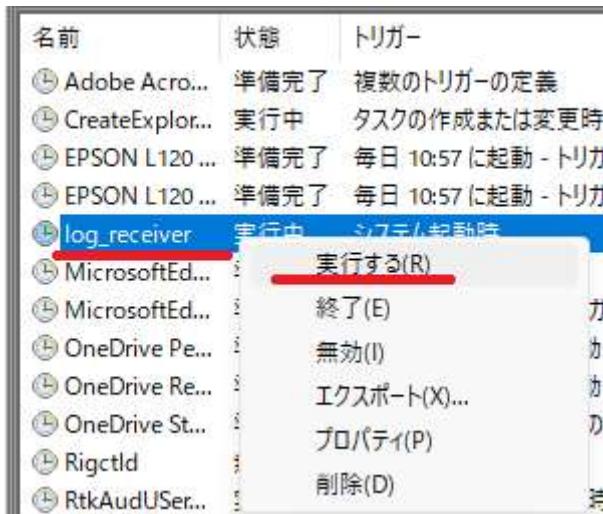


6. 条件の設定

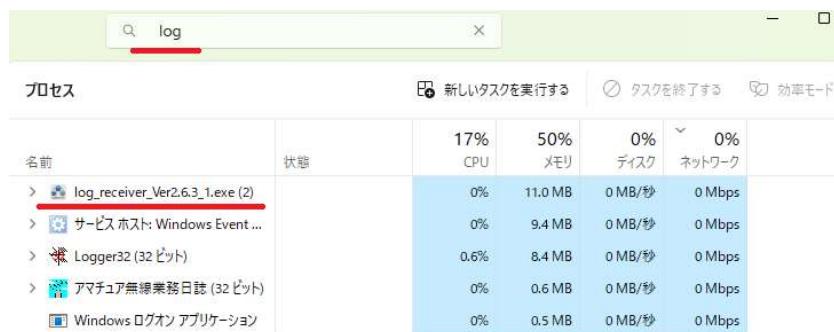
条件は何も設定しなくて良いです



7. 編集が終わったらタスクの起動を行います



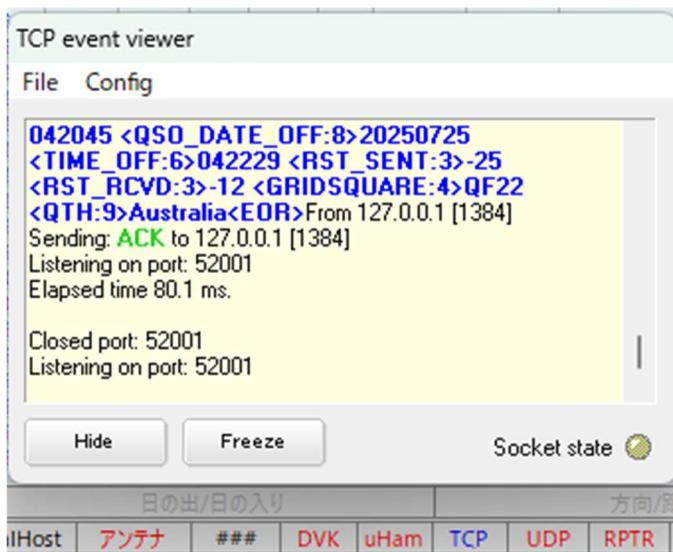
8. 起動後はタスクマネージャーで log_receiver_Ver2.6.6 が動いていることを確認してください
起動後 30 秒しないとタスクマネージャーに表示しません。



最後にパソコンを再起動して log_receiver_Ver2.6.6 が動いているかもう一度タスクマネージャーで確認してください。

ロギングソフトの設定

- TurboHAM は特に何も設定しなくても記録されていきます
JA2GRC さんの JT_Linked の VBnet ソースコードを参考にさせてもらい Python に書き換えました。
- Logger32 は TCP を右クリックして「クリックでポートをオープン」を選びます
TCP event viewer に Listening on port:52001 と表示されれば準備完了です。



Copyright ©2025-2026 Kouichi Ueno JI1FGX/DU9 All Rights Reserved.

完全フリーソフトです。

問い合わせ du9@ji1fgx.com

Website <https://ji1fgx.com/>

log_receiver_Ver2.6.6 に関するページ <https://ji1fgx.com/260104.php>